

バングラデシュに小学校を建てる！

～人と人の繋がりからできること～



学校で学ぶ子どもたち。目力の強さから、これからの将来への期待や強い心を持っていることが見えてくる。一方で、学校へ行きたくても行けない子どもたちがたくさんいるというのが現状である。わたしたちにはいったい何ができるのだろうか。

2014年/2月/バングラデシュ・クシュティア・ダンモルカバザール/奥澤舞佑子



(家庭調査にて) “将来の夢はなに?”と聞くと、「学校の先生になりたい」「お医者さんになりたい」と子どもたちが言った。5歳の小さな子どもたちが、勇気を振り絞って、真っ直ぐな瞳で私たちに伝えていた。命とはなんなのか、生きるとはなんなのか、私たちにはそう聞こえた。

2014年/2月/バングラデシュ・クシュティア・ダンモルカバザール/伊藤美友希



学校に行きたい、学びたいという子がたくさんいる。

2014年/2月/バングラデシュ・クシュティア・ダンモルカバザール/中村琴乃



私たちは日本で、使われなくなったリコーダーや鍵盤ハーモニカを集めた。そしてベンガル語の“上を向いて歩こう”を子どもたちに届けた。そのお礼に向こうの子どもたちも歌を歌ってくれた。

音楽が、国を超え、言葉を超えた瞬間であった。

2014年/2月/ Bangladesh・Kushtia・Danmorakabazar/室井美稚子



機械がなくてもできることはたくさんある。Bangladeshの“知恵”に私たちは感心してばかりだった。

2014年/2月/ Bangladesh・Kushtia・Danmorakabazar/三井千晶



お互いが知っている“あやとり”を教え合う。同じ目線に立つことが大切だと気づく。

2014年/2月/ Bangladesh・Kushtia・Danmolkabazar/永原菜津美



同じ地球にうまれたわたしたちは、
この日、ここで出会い、ひとつの太
陽をみた。

2014年/2月/ Bangladesh・Kushtia・Danmolkabazar/永原菜
津美



明日、日本に帰るんだ。
寂しけど、また来るね。絶対来るからね。

2014年/2月/バングラデシュ・クシュティア・ダンモルカバザール/長谷川麻衣